

# 1 小学部 1 年生 国語科 「わけをはなそう」 直接交流授業

## (1) 授業の目標

理由を表す言葉を使って、自分の気持ちや経験を表現することができる。

## (2) 合同授業の流れ

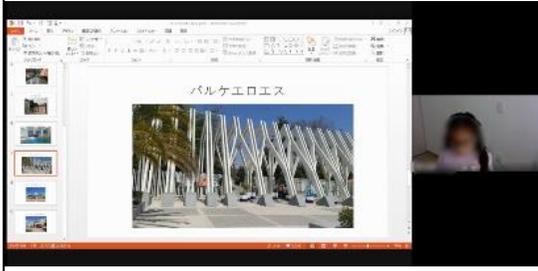
交流形態	学習活動
直接交流 第1時	1. 理由を表す「どうしてかという～だからです。」という表現を知る。 2. サンホセ校の児童と一緒に、Zoom のブレイクアウトセッションで 2 人 1 組に分かれ、絵の人物の気持ちを説明する。 
直接交流 第2時	1. 自分の気持ちとその理由を、ブレイクアウトセッションで 3 人 1 組に分かれて発表する。 2. 同様に全体で発表する。 

# 「アグアス・サンホセ合同授業の実践」

## 2 小学部 3 年生 社会科 「市の様子」 間接交流授業

(1) 授業の目標 身近な市について発表し、市によって違う特徴があることが分かる。

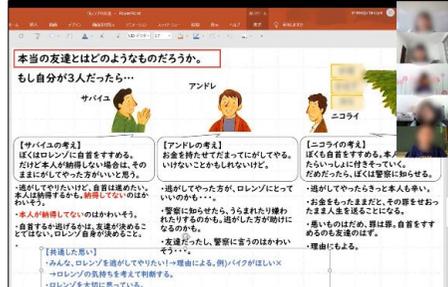
## (2) 合同授業の流れ

交流形態	学習活動
各校で授業	1. アグアス校・サンホセ校各校で自分の住んでいる市について学習する。 2. 自分の住む市の特徴や施設（博物館、公園、プールなど）についてまとめ、紹介動画を撮影する。 
間接交流	お互いの市の紹介動画を見て、感想を書いて送る。

## 3 小学部 6 年生 道徳科 「B(10) 友情、信頼 『ロレンゾの友達』 直接交流授業

(1) 授業の目標 友情について考え、友達を信じる気持ちや大切に思う気持ちを育む。

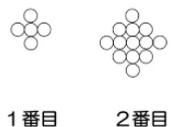
## (2) 合同授業の流れ

交流形態	学習活動
直接交流	1. 友達ならどんなことがあっても信じられるかを考える。 2. 「ロレンゾの友達」を読み、もしも友達が罪を犯したら、自分ならどうするかを話し合う。  3. 考え方の異なるロレンゾの友達 3 人から、共通する友達への思いを見つける。 4. 本当の友達とはどのようなものかを考え、発表する。 5. 本時のふりかえりを書く。 

#### 4 中学部 1・2・3 年生合同 数学科 「文字の式」 直接交流授業

(1) 授業の目標 規則性を図や式で表し、文字を用いる有用性を理解することができる。

(2) 合同授業の流れ

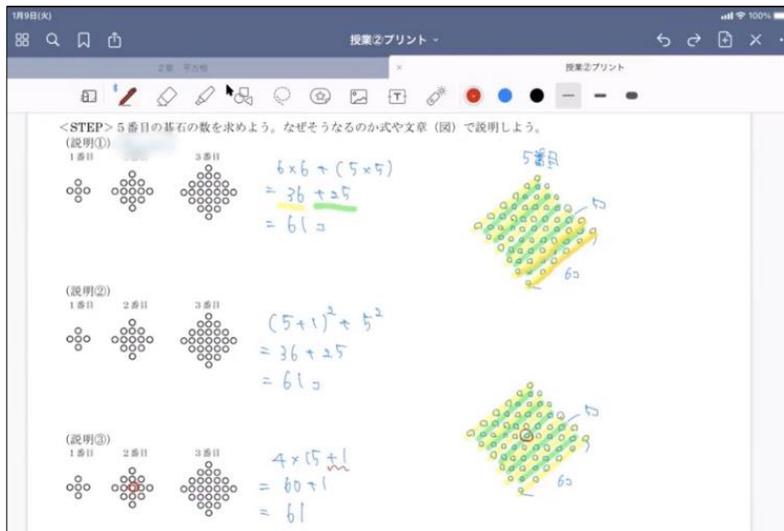
交流形態	学習活動
直接交流	<p>1. 基石の並び方の規則性を説明する。</p> <p>2. 課題① 3番目の基石の数を求める。 まずは個人で考える。</p> <p>どんな規則性があるかな？</p>  <p>1番目      2番目</p> <p>3. 課題② 5番目の基石の数を求める。 全体で考えを共有し、説明をより深め、具体的なものにする。</p>  <p>4. 課題③ n番目の基石の数を求める。 異なる方法での表し方を考え、文字を使うことの有用性を確認する。</p> <p>5. 本時をふりかえり、個人評価カードを記入する。</p>

#### 5 中学部 2 年生 英語科 自己紹介 間接交流授業

(1) 授業の目標 これまで学習した表現を用いて、英語で自己紹介をすることができる。

(2) 合同授業の流れ

交流形態	学習活動
各校で授業	学習した表現を用いて、英語の自己紹介文を考え、発表動画を撮影する。
間接交流	各校でお互いの発表動画を見る。

<STEP> 5番目の基石の数を求めよう。なぜそうなるのか式や文章(図)で説明しよう。

(説明①) 1番目 2番目 3番目  $6 \times 6 + (5 \times 5) = 36 + 25 = 61$

(説明②) 1番目 2番目 3番目  $(5+1)^2 + 5^2 = 36 + 25 = 61$

(説明③) 1番目 2番目 3番目  $4 \times (5+1) = 20 + 1 = 61$



報告：アグアスカリエンス日本人学校  
辻 良一 研究主任